



オリ・パラ施設向けカラマツ材のヤニ対策技術の開発

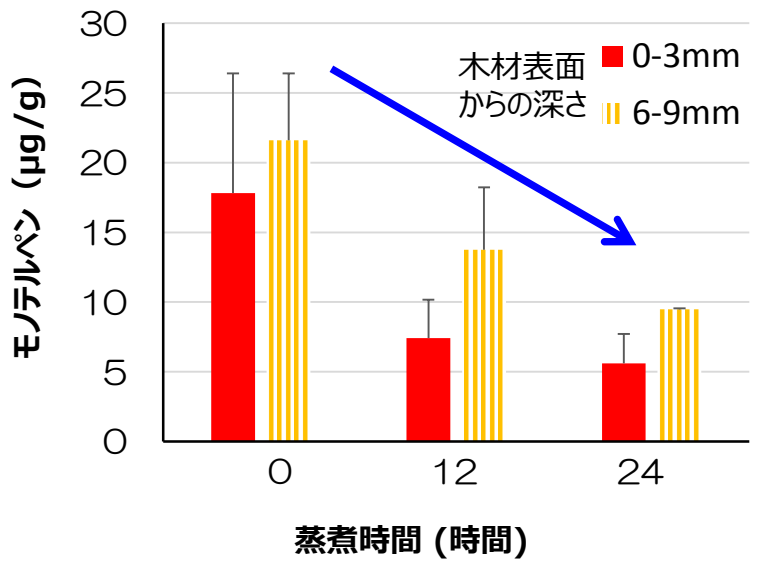
～乾燥条件のコントロールでヤニのしみ出しを防ぐ～

背景

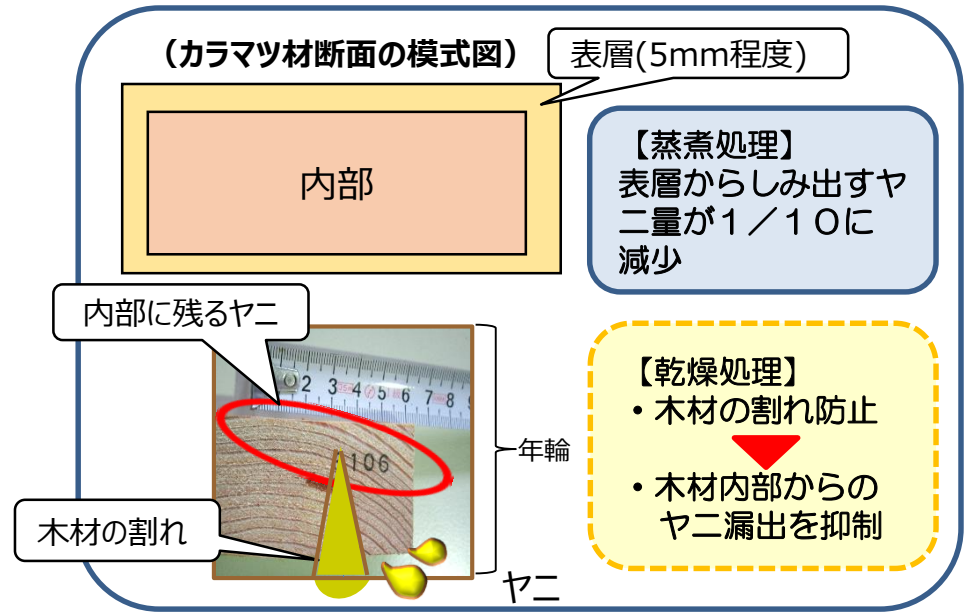
- ・カラマツは、国産材の中では強度に優れる木材で、オリンピック・パラリンピック施設での利用が予定されています。
- ・しかし、カラマツにはヤニ（樹脂）が多く含まれ、表面にしみ出しやすいという欠点があるため、対策が必要になっています。

成果

木材を乾燥する前に、80℃以上の水蒸気にさらす（蒸煮処理）ことで、ヤニを溶かすモノテルペンを大きく減らせることを明らかにしました。



- ①「蒸煮処理」によって、木材表面にヤニがしみ出る割合が大幅に減少しました。
- ②十分な「乾燥処理」によって割れを防ぎ、内部に残ったヤニの漏出を抑制します。



活用

- ヤニのしみ出しを抑制する対策を明らかにしました。
- 東京五輪競技場へのカラマツ材納入を目指す道内企業の乾燥材生産に反映されています。